

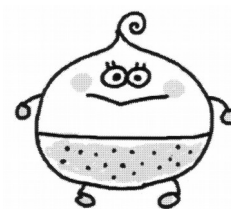
HDM推進会（第41回）／ごみゼロネット推進会（第63回）議事録

開催日： 2013年(H25年)8月21日(水) 10:00～12:00

場所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 加藤、大橋、杉本、川村、山本、桐生（作成）

議題：



1. 日野市クリーンセンターごみ処理施設建替え反対市民の活動状況（加藤）

- 8回の住民説明会が開催された。累計参加住民は432名、質問は209件。住民の意見で、条件付き賛成は5件、絶対反対は78%。但し、反対者は殆どの説明会に出ており、反対者の実態は見かけよりも少ない。
 - 最初は1団体であった反対派が、現在では4団体に増えている。共通するのは「絶対反対」の姿勢。
- 日野市の公表された見解。①住民の受ける迷惑を避けるため、ごみ運搬車のための新しい道路を建設する。その費用は全額、小金井市と国分寺市に負担してもらう。②大型の低公害車に切り替える。③ごみは分別収集する。何れも費用がかかるが、稲葉市長は「金は全部だす。金のことは心配しなくてよい」といつていた。
- 注意事項として、「小金井市民のネット上の書き込みで『こちらは金を出すのだから、文句を言うな』とあるのを知っているか」という発言があった。
- 三市の市民が集まって、「ごみ減量市民会議」を作ることになっている。

2. 市が作成した「第24回HDM導入検討会の議事録」の内容検討（全員）

6/21の会議の議事録が今やっと出た。従来より市側の発言は「○」、推進会側の発言は「⇒」であった。今回

も第2頁の途中まではそうであるが、驚くべきことに、第2頁の下から8行目以下第4頁まで全部で、「○」が推進会、「⇒」が市側と逆転している。このため、市側から「今後のためにも、分別収集は行って行く必要がある」等の発言がなされたことになっている。ケアレスと思われ、ごみ対課に申し入れ、急遽明日に議事録の内容検討会を行うよう手配した。

3. 「三市ごみ処理共同化によるごみ減量と処理方式（試案）」（加藤氏作成）の説明

本件については既にMLで事前に配布されていた。内容を細密にチェックした杉本氏より、「内容はよいが、読む側にとって判りづらい」と具体的に指摘があり、加藤氏と杉本氏のコラボで多くの人に理解してもらえる試案に仕上げることになった。

4. 「エコ・ディスポ200」等の討議

- 加藤氏が見てきた新型の容積200ℓの廃棄物処理装置である。事業所、病院、介護施設等をターゲットとして製品化された。
- 消費電力1kWで、300～400℃の低酸素状態に維持して乾留炭化⇒微粉灰にする方式。排ガスはセラミック触媒を通して完全に無臭化すると紹介された。
- 製品の説明文が非常に理解しにくいこと、電気技術の常識では理解できない内容であることなど、かなり問題含みの製品である。使い物にならない製品は発売していないと思われるので、適用可能な用途もあるので

はないか。但し、処理能力が小さすぎて我々の目標と方向性が異なり、この会で検討対象にすることには
同
意が得られなかった。

- 大橋氏から「三市共同処理で生ごみのバイオガス化発電が俎上に上がっているので、我々も検討しておく必要がある」との提案があった。HDMを推す我々も説明責任から免れないので、利点・欠点を含めて次回以降の検討対象としたい。

以上

次回打合せ 9月11日(水) 10:00~12:00 コミュニティサロン・はけ

1 / 1